

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム相模湖	階数	地上4F
建設地	神奈川県相模原市緑区寸沢嵐字反	構造	RC造
用途地域	非線引き区域	平均居住人員	120人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2013年5月1日
敷地面積	11,544 m ²	作成者	株式会社 山下設計
建築面積	2,368 m ²	確認日	2013年5月1日
延床面積	8,078 m ²	確認者	株式会社 山下設計



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.8**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.2**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項	
総合 相模原市緑化指針の基準に適合する緑化計画を行った。相模原市景観計画の「湖と里の地域」に位置しており、周辺の環境と調和する景観形成に取り組んだ。	その他 0
Q1 室内環境 建物は周囲にバルコニーを確保し、室内への熱の進入を防いでいる。居室を建物の外側に配置し、採光・通風を確保している。	Q2 サービス性能 省水型機器(擬音装置、節水型便器)を採用している。
Q3 室外環境(敷地内) 相模原市緑化指針の基準に適合する緑化計画を行っている。	LR1 エネルギー 複層ガラスの採用、断熱性能の向上を図り、建物の外皮負荷を抑制している。
LR2 資源・マテリアル 省水型機器を採用している。	LR3 敷地外環境 日影は建築基準法にもとづいて計画している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される